

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年5月21日(木) 18時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

5月18日(月)～21日(木)

- 21日(木) 17時現在、州内感染者数は前日比3880人増(+6%)の7万3739人、うちサンパウロ市が4万1451人、オザスコ市が2032人、グアルーリョス市が1889人、サン・ベルナルド・ド・カンポ市が1802人と続く。州内死者数は同195人増(+4%)の5558人で、うちサンパウロ市が3238人。全体の致死率は7.5%、60歳以上の死者の割合は73.1%。感染が確認されているのは州内645市のうち493市(前日484市)、死者は226市(前日223市)。入院感染患者数は1万600人。州内公立病院のICU占有率は73%(前日71.7%)、サンパウロ大都市圏内は同89.6%(前日87.9%)。
- 19日(火)の州の社会的隔離実施率は49%、サンパウロ市の実施率は50%。20日(水)の州の同実施率は48%、サンパウロ市の同実施率は49%。21日(木)の州の同実施率は49%、サンパウロ市の同実施率は51%。
- 21日(木)、サンパウロ州政府は、5月26日(火)より、感染拡大が見られる州内陸部バウルー市のサンパウロ大学医学部附属クリニカス病院が新型コロナウイルス患者の受け入れを開始すると発表。
- 20日(水)、サンパウロ州政府は、サンパウロ市内で4つ目となるエリオポリス地区の仮設病院(200床、うち24床はICU)が稼働を開始したと発表。市内の仮設病院の病床数は計2440床となる。
- 20日(水)、サンパウロ州政府は、サンパウロ大学医学部附属クリニカス病院で、新型コロナウイルスから回復した患者が1千人を超えたと発表。同病院には275の新型コロナウイルス専用ICU病床があり、5月末までに300床が利用可能となる見込み。
- 20日(水)、サンパウロ州政府は、州内私立病院とICU病床の貸与契約を行い、計4500床(うち1500はICU)を確保すると発表。予算は5億9400万リアル。同措置により、州内の新型コロナウイルス対応の病床が倍増する。これらの病床は遅くとも6月11日(木)までには整備される。
- 20日(水)、サンパウロ州政府は、州内陸部及び沿岸部に新型コロナウイルスの感染が急激に拡大していると懸念を表明。人口1万5千人以上の州内全ての市において感染が確認されている。
- 20日(水)、サンパウロ州政府は、連休初日の20日(水)、州内都市部とサントス港を結ぶ道路における車両の通行量が35.3%減少したと発表。
- 19日(火)、サンパウロ州政府は、同日午前、中国より購入したN95医療用マスク1100万枚が同州に到着したと発表。州は、中国より1800万枚のマスクを購入しており、4月30日に最初の700万枚が到着していた。
- 19日(火)、サンパウロ市は、同日より、社会連帯プログラム「Cidade Solidária」がバスターミナルや地下鉄・電車の駅での寄付物資の受付を拡大すると発表。
- 19日(火)、サンパウロ市は、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、アルコールや薬物を乱用する貧困層への支援を行うため、国境なき医師団と協力関係を結んだと発表。
- 18日(月)、サンパウロ市は、これまで市内の多くの地区や通りにおいて、医療機関等と協力しながら実施してきた新型コロナウイルス感染予防の啓発活動を強化すると発表。

2 マット・グロッソ州

5月16日(土)～21日(木)

- 21日(木) 18時現在、州内感染者数は前日比97人増の1090人、うち州都クイアバ市が380人、ヴァルゼア・グランデ市が108人、ロンドノーポリス市が100人と続く。入院患者数は99人(うち5

2人がICU)。州内死者数は同日までに31人目（生後8か月の男の幼児，アルト・ボア・ヴィスタ市），32人目（67歳女性，カセレス市，糖尿病と高血圧症を患っていた），33人目（74歳男性，サン・ペドロ・ダ・シパ市，糖尿病と高血圧症を患っていた）及び34人目（61歳女性，ヴァルゼア・グランデ市，糖尿病と高血圧症を患っていた）が確認された。統一医療保健システム（SUS）に参加する州内病院における新型コロナウイルス感染患者向けICU病床の空きは269床（占有率10.9%），一般病床は877床（同3.1%）。

- 19日（火），同州政府は感染拡大防止策の一環で，軍警察や消防隊，衛生管理当局等を通じ，州内各市の公的機関や公共スペースの消毒，市民へのマスク配布やマスク着用に関する案内などを実施したと発表。
- 19日（火），同州民事警察は，水道事業会社 Águas Cuiabá より石鹼5千個の寄付を受けたと発表。同石鹼は州内全域の警察署で活用される予定。
- 19日（火），同州教育局は18日（月）より，公共テレビ「TV Assembleia」を通じ，主に国家高等教育試験（ENEM）を受験予定の高校生を対象にした録画授業の放映を開始したと発表。
- 19日（火），同州政府は州知事夫人が中心となり実施している慈善キャンペーン「Vem Ser Mais Solidário」を通じ，セラ・デ・サンヴィセンテ地域の恵まれない家庭に150個の食料セットを配布したと発表。
- 16日（土），同州政府は州境に設置しているトラック貨物の伝票確認・取締り施設で感染拡大防止策を講じていると発表。トラック運転手に手洗い場を設けたり，マスク着用等と呼び掛けたりしている。
- 18日（月），クイアバ市は，同市長夫人の発案により，新型コロナウイルス感染患者の対応に当たっている統一医療保健システム（SUS）所属の医療従事者約7千人を精神的・心理的に支援するプログラム「Programa Cuidando de Quem Cuida da Gente」を開始したと発表。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

5月16日（土）～21日（木）

- 21日（木）11時現在，州内感染者数は前日比53人増の746人，うち州都カンポ・グランデ市が222人，ギア・ロペス・ダ・ラグナ市が119人，トレス・ラゴアス市が105人と続く。入院患者数は31人（うち11人がICU）。州内死者数は17日（日）に確認された17人目から変わらず。州内各市で実施しているドライブスルー形式の感染検査については，カンポ・グランデ市では2320人のうち69人が，ドウラードス市では302人のうち20人が，トレス・ラゴアス市では272人のうち29人が，コルンバ市では59人のうち2人が陽性を示した。なお，20日付経済紙ヴァロール・エコノミコは同州の死者数が全国で最も少ないとして，同州知事へのインタビュー記事を掲載，その中で知事は社会的隔離実施の重要性を指摘しつつ，高齢者の立場を考えれば引き続き外出自粛措置を継続する必要があるとの考えを示した。
- 19日（火），同州政府は3月17日（火）から連日続けているSNSを通じた新型コロナウイルスに関するライブ情報配信について，これまでに累計約360万回の視聴があったと発表。医療専門家も参加しており，フェイクニュースではなく，正しい情報を広く発信・共有できるツールとして有効と説明。
- 19日（火），同州政府は，家族農支援計画（Pronaf）を通じ，経済的に困窮している州内の家族経営農家の資金援助として3千万レアルの与信枠を設定したと発表。ブラジル銀行や州環境・経済開発・生産・家族農業局（Semagro）などが連携して支援事業を進める。なお，同局は18日（月），同州の障害者支援団体（FEAPAES/MS）に対し，70%アルコール・ジェル960リットルを寄付したと発表。
- 19日（火），同州政府は州公共サービス管理機関 Agepan による路上での取締りを5月7日（木）より強化したと発表。例えば州内各市の公共バス等の乗車定員は通常時の半分に制限されているが，11日（月）～16日（土）にこれを遵守していなかった車両は州内で84に上ったと説明。
- 17日（日），同州政府は病床の拡充，州内各市への資金供与，公立学校の冬休み前倒し，貧困家庭への食料配布，水道・ガス供給の停止禁止等，これまでに100件に上る感染対策を講じていると改めて説明。
- 17日（日），同州政府は電力会社 Energisa が社会慈善活動「Movimento Energia do Bem」の一環で，家庭

内暴力の被害を受けた女性の支援等を行っている NGO 団体（ACIESP）を通じ、今後 40 日間に綿 100% のマスク 6 万 5 千枚を作製し、州内の老人ホームや先住民コミュニティに配布すると発表。

- 16 日（土）、同州政府は州内 15 市、計 21 の刑務所の収監者によるボランティア活動を通じ、これまで 1 万 3 千個の個人防護具を製作したと発表。うち 94% がマスクで、その他は医療向けの上着、キャップ等。
- 19 日（火）、カンポ・グランデ市保健局は新型パソコン 319 台を導入したと発表。市内の各医療施設で活用し、新型コロナウイルス感染患者の対応等を効率的に進めることが目的。
- 18 日（月）、カンポ・グランデ市は市内の自動車学校、英語・数学・ポルトガル語の予備校、専門学校の教室での授業再開を許可すると発表。但し、生徒間の距離を最低 2 メートル確保するなどの必要な対策を講じることが条件。なお、大学での教室の授業は引き続き中止。（了）